



右からストロコちゃん、ストロコくん、フロッカ、イエロー

町体育連盟「スポーツを考える会」ほか  
「スポーツを考える会」(町体育連盟主催)が2月23日、町公民館で開催され約70人が参加しました。「子ども「ロ」って何?」と題し、社会医療法人北斗新得クリニックの計良基治院長が講演をしました。講演では、高齢者が寝たきりや要介護状態になってしまう原因の一つとして考えられている「ロコモティブシンドローム(略称・ロコモ)」の予備軍としての子ども「ロコモ」について「今の子ども達は転んだ時に手をつけないで顔を打ってしまふなど運動器不全の子が多い。将来的に寝たきりなどにならないためにも、子どもの頃から「ロコモ対策が必要」と話し、NPO法人全国ストロップザロコモ協議会のゆるキャラ「ストロコくん」とストロコちゃん」が参加者に子ども「ロコモ」体操を伝授していました。



子どもの頃から「ロコモ対策を!」  
町体育連盟「スポーツを考える会」  
「功績区分」  
農業・農村振興功労者  
北海道産業界貢献賞受賞  
北海道産業界協議会が  
新得町レディースファームスクール協議会が  
平成27年度北海道産業界貢献賞(農業関係功労者)の「農業・農村振興功労者」区分で新得町レディースファームスクール協議会が受賞し、2月3日の表彰式にて道副知事より表彰を受け、その報告として2月15日に同協議会太田義正会長が町長室を訪れました。同協議会は受入農家14戸で構成されています。  
新得町立レディースファームスクールは、平成8年に開校し、現在20期生を受入中。今まで長期修了生16人を輩出し、その半分近くが道内に在住しています。  
今年4月には、21期生を迎えますが、16人の応募があり、そのうち14人を受け入れる予定となっています。  
「農村に若い人が行くことは良いこと。農村が明るくなる。これからも続けていかなければ」と太田会長は決意を語り、「農家さんの我慢、女性の我慢、我慢の中で20年間やってきた。経営の中での受入なので苦労が多かったと思うが、農家の受け入れがなければ成り立たなかった」と浜田町長は話していました。

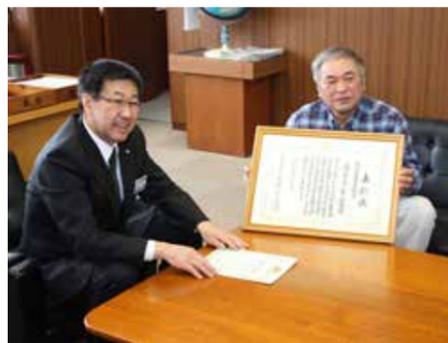


5月と8月に観戦バスツアーを予定  
北海道日本ハムファイターズ新得後援会設立総会  
北海道日本ハムファイターズ新得後援会の設立総会が2月10日、町公民館で開催され入会希望者32名が集まりました。  
昨年、大谷翔平投手が10勝した際に、さほろ酒造の十勝無敗を差し入れたことがきっかけで、町民の機運が高まったことにより後援会が設立されました。  
後援会事業として5月と8月に観戦バスツアーを予定しています。会員を随時募集中で、入会にはオフィシャルファンクラブへの入会(年会費3300円)と後援会年会費1000円が必要。問い合わせは、商工労働係の鈴木まで(64-0522)

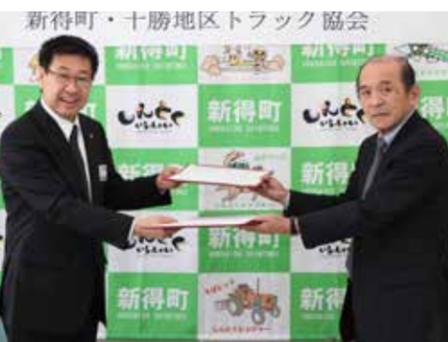


写真左から2番目が吉岡さん

手話を身近に!  
町商工会青年部が手話講習会  
新得町商工会青年部(根本健史部長)が3月4日、町商工会館で手話講習会を行い、部員ら18名が参加しました。  
この取り組みは、手話条例が施行されたのを機に昨年度から実施され、今回で2回目。講師は厚生協会の伏見景子さんと高橋一博さんが務めました。久しぶりに開催された手話講習会とあって部員らは、手話を使うのに悪戦苦闘していました。中にはテキパキとあいさつや自己紹介をこなす人もいました。根本部長は「今後も続けていきたい」と意欲的に話していました。



受賞報告をした太田会長(右)と町長



トラック協会榎副会長(右)と町長



非常時に心強い協定  
緊急時における輸送業務等に関する協定調印式  
新得町と一般社団法人十勝地区トラック協会は2月15日、「緊急時における輸送業務等に関する協定」を結びました。同協会は、平成27年度中に全市町村と協定を結び予定です。この協定では、災害発生時に各自自治体の要請を受け、食料品や衣料品など緊急物資の輸送を同協会が優先的に行います。  
浜田町長は、「トラック協会の方と協定を結べたのは心強い。これからも非常時の対応等一緒に協力してもらいたい」と述べ、榎副会長は、「地位住民の生命・財産を守るために精一杯活動したい」と決意を述べました。